

にほんごひろば

第7回 ニホンゴで文章を書こう！

日本で暮らす外国人は日本語の会話はできても文章を書くのが苦手なようです。
そこで当部では毎年、学習者に日本語の文章を書いて発表してもらっています。

開催概要

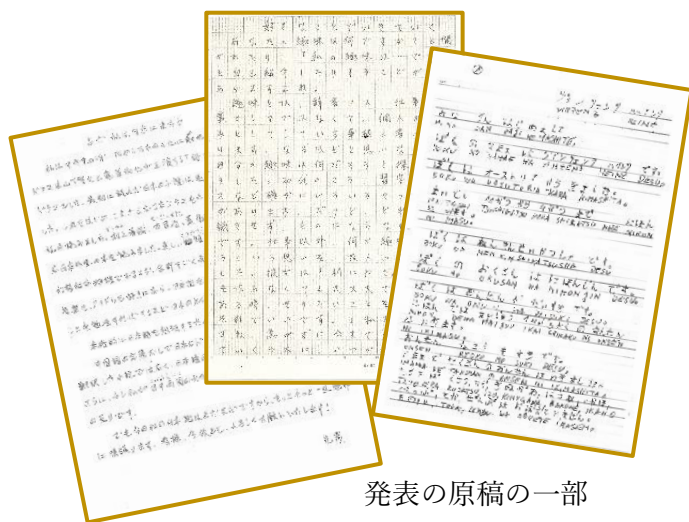
日時 2024年1月29日(月曜)
場所 中央図書館4階 多目的ホール
発表者 V.ハインツさん(オーストリア)
シュエ ジチンさん(中国)
先彦さん(中国)
司会 にほんごひろば 古沢
参加者 約30名



会場風景



左から先さん、シュエさん、ハインツさん



発表の原稿の一部

担当者のコメント

3人とも素晴らしい出来栄です。特にシュエさんと先さんの作文は、添削後とはいえ、日本語の基礎がしっかりできています。内容も優れていて、日本語学習に対する熱意を強く感じました。今後とも作文発表会は続けていく所存です。

ニホンゴで文章を書こう！ 作品



にほんのおんせんがだいすきです。 ヴィンツェンツ ハイイツ

みなさん、はじめまして。ぼくのなまえはヴィンツェンツ ハイイツです。ぼくはオーストリアからきました。まいとし11がつから4がつまで、にほんにいます。ぼくは、ねんきんせいかつしゃです。ぼくのつまは、にほんじんです。ぼくはおんせんがだいすきです。にほんでは、まいしゅう1かい、ちかくのおんせんにいきます。おんせんりょうもすきです。

いままで、たくさんのおんせんにいきました。たとえば、くさつ、いず、きぬがわ、はこね、いかほ、べっふ、とか、ぜんぶはおぼえていません。うみのみえるおんせんやまのなかのおんせんは、けしきもとともきれいです。

にほんのたべものは、とてもおいしいです。とくに、おすし、からあげ、おでん、やきとりがだいすきです。



好きなことで生きていく シュエジチン

「あなたの趣味は何ですか」と聞かれたり、「私の趣味は、、、です。」と自己紹介することがよくありますよね。

趣味とは、辞書には「仕事、職業としてではなくて、個人が楽しみとしてしている事柄」と書いてあります。なるほどと思いながら、自分の趣味は何だろうと探し始めました。20代のころ、習字やテニスなど確かにいろいろやったことがあります。だけど、どれも長続きせず、ものにならなかったのです。仕事以外の何か趣味を作ろうという思いを友人に相談しましたところ、彼女は、「別にわざわざ趣味を作らなくても大丈夫です。暇がある時、やりたいことをやれば、それでいいです。」と言いました。私は、「そうですね。急がずに今まで通り生活していくうちに、いつか好きなことが出てくるかもしれない」と思いました。

そうしたら、ある日、みんなでカード遊びをした時、私は「あなたの趣味は？」というカードをもらいました。隣に座っていた私の知人は、「シュエさんは日本語をずっと習っているのだから、日本語がシュエさんの趣味ではありませんか」と。その一言で私の趣味を見つけられました。そうですね。私は日本語が好きで日本語の勉強を続けてきました。そのため日本に来て日本語教室に通うこともできたわけです。もし日本語を勉強していなければ、私はここにいません。私はこうして日本語とずっと一緒に生活してきたことに気がついて幸せです。これからも好きな日本語と一緒に生きていきます。



なぜ私は日本に来たか 先彦

私は中学生の時に初めて日本の文化に触れました。最初に見た日本のドラマは山下智久と亀梨和也が主演する「野ブタをプロデュース」というドラマでした。最初に読んだ日本の小説は岩井俊二の「ラブレター」でした。これをはじめ、さまざまな日本のドラマをたくさん見て、いろいろな日本の小説を読みました。村上春樹、太宰治、夏目漱石、森見登美彦など、いろいろな日本作家の本を読みました。美しい物語であるとか、悲しい物語であるとか、幻想的な物語であるとか、全部すごく面白かったです。

そして、日本の映画も音楽もアイドルも好きになり、日本語を独学で勉強し始めました。日本のことを勉強すればするほど、日本の文化がもっと好きになりました。そして、本格的に日本語を勉強するために去年、来日しました。中国語の字幕なしで日本のドラマを見られるように、また中国語に翻訳した小説ではなく、日本語の原文を読めるようになりたいです。さらに、もし私が日中両国の文化交流の懸け橋になれば、光栄の至りです。でも、今の私の日本語はまだまだですから、もっともっと一生懸命に頑張ります。皆様、今後ともよろしくお願いいたします！

ニホンゴで文章を書こう！ 中央図書館多目的ホールにて

作文発表後、担当ボランティアが作文の内容について2問ずつ質問しました。



V.ハインツさん



シュエジチンさん



先彦さん

作文発表者の声

日本語で作文を書くのは初めてですし、今まで日本語の作文を発表することもなかったので、すごく緊張しました。

テーマを決めるとき、どんなテーマが良いのか日本語で考えるところが難しかったです。でも、テーマが見つかり先生に添削していただいた後、拝読したら、なるほどと、言葉で言い表せないほど、きれいな文章に感動しました。

私のつたない作文の発表をご清聴いただいた後の皆様からの熱烈な拍手は、とても励みになりました。今回の作文発表は私にとって貴重な経験となりました。誠にありがとうございました。



ハインツさんの作文について、参加した学習者から質問がありました。

ボランティアの声

作文発表会という企画はとても良いと思います。ただ、今回の場合ですと、おそらく日本語初級レベルの方には内容を理解することが難しかったと思います。あとは、中国の方が多いので仕方ないかもしれませんが、中国語のみで作文を要約すると、他の言語を話す方にとってなんで中国語だけと思うかもしれません。また、テーマを決めてやったり、どのレベルの人も楽しめる雰囲気づくりをするのも面白いと思います。